

# 土浦普及センターだより

平成27年2月13日 No.38  
茨城県南農林事務所経営・普及部門  
(土浦地域農業改良普及センター)  
土浦合同庁舎第二分庁舎3階  
土浦市真鍋5-17-26  
電話 029-822-8517  
FAX 029-822-7370  
URL:<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nourinjimu/kennan/tsuchiura/index.html>

## 若手生産者が飲食店関係者と交流・地場産農産物をPR

### 土浦地域後継者組織交流会



▲意見交換の様子



▲交流会の様子



▲生産者の農産物を素材とした料理

土浦地域（土浦市、かすみがうら市、石岡市）では、現在  
一一の農業後継者組織が活動しており、後継者組織交流会を  
年に一度開催しています。今年度はJ A土浦青年部はばたく  
会が事務局となり、土浦市の「BAR TAKEO」にて九  
月二五日に開催しました。

今回の交流会は、飲食店関係者の地場農産物を活用したい  
というニーズの高まりと、生産者の販路開拓へのニーズが合  
致したことにより、従来の後継者組織同士の交流会ではなく、  
飲食店を交えたものになりました。

具体的には、若手生産者と飲食店関係者が、生産者自らの  
農産物を素材とした料理を囲みながら交流するとともに、生  
産者が飲食店関係者に地場農産物をPRする会としました。  
当日は、生産者五一名と居酒屋、ホテルのレストラン、食品  
メーカー等の飲食店関係者六名が参加しました。

交流会では、新鮮な有機野菜や肥育にこだわったブランド  
牛など、地場農産物一六品目が集められ、地場農産物の特徴  
をいかした特別メニューを料理してい  
だきました。料理を囲んで、生産者から  
は地場農産物の生産から流通までの取組  
について、飲食店関係者からは地場農産  
物の活用や消費者の反応について紹介し、  
地産地消推進についての意見を交わしま  
した。

生産者・飲食店関係者の双方から「交  
流を継続し、地場農産物の消費拡大や地  
域農業の活性化につなげたい」と意欲的  
な意見が聞かれました。

当経営・普及部門では、今後も地域農  
業の未来を担う後継者組織活動を、継続  
的に支援していきます。

## れんこん塾が都内で レンコンの試食販売会を開催!

土浦地域の若手レンコン生産者組織であるれんこん塾が、一〇月二五日にいばらきマルシェ（東京都中央区銀座）にて、レンコン消費拡大に向けたPRを目的に、試食販売会を開催しました。

当日は、姿掘りのレンコンなどを展示したところ、普段目にすることができないレンコン本来の姿に、関心が集まり、多くの方が足を止めていました。また、試食用に準備した、百人分のレンコンのごろごろ煮と酢バスのサラダは、終了時間前にすべて配られ、多くの消費者に食べていただきました。特に、レンコンの食べ方をあまり知らない子供連れの若い主婦層は、試食でレンコンのおいしさを実感して、レシピをまとめたパンフレットとともに購入する姿が印象的でした。



▲マルシェのアーケードで実施



▲多くのお客さんが足を止めていました



▲試食

さらに、消費者から、レンコンの保存方法や調理法などの質問がありました。「レンコンは乾燥に弱いから湿った新聞に包んで冷蔵庫で保存して」「大きい節はすり下ろしてハンバーグのつなぎなどに、小さい節は酢ばすやサラダにするとおいしいよ」など、生産者自らの説明を、消費者は興味深く聞いていました。試食や生産者からの説明により、レンコンを喜んで購入していただき、用意した一五キロのレンコンを完売することができました。試食販売による消費宣伝を積極的に行うことで、新たなレンコンファンを開拓できると実感した一日でした。れんこん塾の会員にとって、消費者の声を直接聞ける有意義な販売会となりました。（姿掘り・土の中の状態を保って、節を折らずに掘りあげる（収穫すること））

## 平成二六年度 土浦地域農業学園について

普及センターでは、新規就農者や青年農業者等を対象に、農業経営の基礎知識や先進技術の習得を目的として、『農業学園』をおおむね月一回（例年六月から翌二月まで）程度開催しています。

講座内容は、病害虫防除や土づくりといった基礎的なものから、土浦地域の特産物であり、受講生の品目としても多いレンコンについての専門的な講座（写真右上）まで、受講生のニーズに応じ多岐にわたります。特に、今年度は仲間づくりの促進をテーマとし、各講座でのグループ・ディスカッションや、受講生同士のほ場を見学し合うほ場見回り会を開催しました（写真左下）。

また、県南地域の三つの普及センター（土浦、稲敷、つくば）では三年前から合同で広域講座を開催し、多様な品目や先進的な事例について学ぶとともに、青年農業者等が地域を越えて交流する場となっています。

受講生からは「農業の適正使用や農作業安全についての意識が高まった」「同じ新規就農者や先輩農家の取組に刺激を受けた」といった声が聞かれました。普及センターでは農業学園の受講生を随時募集しています。受講を希望される方は、普及センターまで御連絡ください。



▲実物のレンコンを教材に



▲受講生のハウスを見学

- 平成二六年度土浦地域農業学園開催スケジュール
- 【六月】開講式
- 【七月】レンコン講座（第一回）
- 【八月】ほ場見回り会
- 【九月】病害虫講座
- 【一〇月】レンコン講座（第二回）
- 【十一月】有機農業・土づくり講座
- 【十二月】農業機械研修
- 【三月】販売・流通講座及び閉講式（予定）
- 広域講座（稲敷、つくば主催）
- 【七月】水稻講座（稲敷主催）
- 【一〇月】パッケージング・ブランド化講座（つくば主催）